

高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会

第11回 議事概要・要旨

日時：令和8年 4月30日（木）13:00～15:00

場所：AP日本橋 会議室

出席：

委員長 藤野 陽三 （東京大学 名誉教授）
委員 太田 秀樹 （中央大学 研究開発機構 機構教授）
宮川 豊章 （京都大学 名誉教授）
西村 和夫 （東京都立大学 名誉教授）
秋葉 正一 （日本大学 生産工学部 教授）
田仲 博幸 （東日本高速道路（株）管理事業本部長）
関谷 富彦 （中日本高速道路（株）保全企画本部長）
永田 順宏 （西日本高速道路（株）保全サービス事業本部長）
ワザハ - 廣瀬 健二郎（（独）日本高速道路保有・債務返済機構 企画部長）

議事：

1. 委員会での審議事項及び開催履歴
2. 更新計画の継続した検討（高速道路区域外からの土石流対策・鋼橋の腐食への対応）
3. 先行特定更新等工事（床版更新）の振り返りを踏まえた更なる対応
4. 適切な維持・管理（予防保全）の検討

主な意見：

1. 「高速道路区域外からの土石流対策」については、溪流や地質の特性等を踏まえた道路区域外危険箇所の抽出方針、高速道路被災時の復旧性や社会的影響等を踏まえた対応に関する優先度の整理方針及び基本方針を確認した。
2. 「鋼橋の腐食への対応」については、構造形式や部位ごとの変状傾向及び点検難度を踏まえて設定した対策優先順位並びに対策工法の検討方針を確認した。
3. 「先行特定更新等工事（床版更新）の振り返りを踏まえた更なる対応」については、労務費・物価の高騰等事業環境の変化及びこれまでの事業実施によって得られた知見を踏まえて、床版の部分的な補修や防水工によって長寿命化を図っていく事業方針を確認した。
4. 「適切な維持・管理（予防保全）の検討」については、劣化要因や橋種に応じた劣化状況の分析結果に基づき設定した対策優先順位を踏まえた概算事業量を確認した。

以上